



## 黒字化を実現した社員の努力に応える夏季手当を求め

### 本部申11号 2023年度夏季手当に関する申し入れを提出

中央本部は5月15日、申11号として、2023年度夏季手当に関する申し入れを経営側に提出しました。変革2027を担い、3期ぶりに黒字化を実現した社員の努力に応える夏季手当を求めて取り組みます。

JR東日本が4月27日に発表した2022年度の期末決算は、コロナ禍の影響から回復したことで全てのセグメントで増収となりました。

営業収益は2期連続の増収となる2兆4055億円、期末決算としては3期ぶりに営業利益、経常利益、当期純利益が黒字に転換しました。

単体においても増収増益となり3期ぶりの黒字を実現しました。



決算とあわせて発表された「変革2027」の新たな数値目標ではポストコロナにおける成長戦略の再構築を掲げ、2028年3月期の連結営業収益の目標を3兆2760億円とするなど、さらなる成長を実現するための努力が社員に求められているといえます。

#### ■本部申11号 要求項目

- 2023年度夏季手当は社員一律による「基準内賃金の3.0ヶ月分」とすること。
- 2023年度夏季手当において、これまでのコロナ対策、黒字経営に尽力した社員の労に對し、特別措置として社員一律による「基準内賃金の0.3ヶ月分」を支給すること。
- 2023年度夏季手当の基礎額に、主務職(等級区分4)は100円、主任職(等級区分3)・指導職(等級区分2)・係職(等級区分1)は200円を加えた額とすること。
- 2023年度夏季手当は2023年6月30日(金)までに支払うこと。

### 2022年度期末決算 3期ぶりに黒字化を実現!

JR東日本は4月27日に、2022年度の期末決算を発表しました。

これによると連結・単体ともに、増収増益となり3期ぶりの黒字転換となりました。

単体決算では、営業収益は2期連続の増収となり、第3四半期決算としては3期ぶりに全ての利益が

いる社員の賃金は、2021年度の賃金改訂における定期昇給が昇給係数2係数で実施されたことや、期末手当の低額支給などにより大きく影響を受けてきました。

会社発足以来最大とも言える危機的状況を全社員一丸となって乗り越え

た現在、社員の賃金だけが置き去りにされることがあってはなりません。感染症対策を徹底しながら鉄道事業を軸として持続的成長を実現してきて社員の努力に応える責務が経営側にはあります。

JR東日本2022年度期末決算(単体)

- 営業収益 17,655億円 (対前年 3,413億円増)
- 営業利益 909億円 (対前年 2,405億円増)
- 経常利益 460億円 (対前年 2,237億円増)
- 当期純利益 524億円 (対前年 1,515億円増)

### エルダー組合員同士の交流を深めて 労働条件改善 組織拡大を実現しよう

#### 新潟地本エルダー協議会第2回定期総会



新潟地方本部エルダー協議会は5月14日(日)、新潟市の万代市民会館において第2回定期総会を開催しました。委任状を含め50名を超えるエルダー組合員の出席を確認し、運動方針と役員体制を確立しました。渋谷会長は「エルダー先の労働条件がどうなっているのか、じっくり話し、

春闘でエルダー賃金の加算を勝ち取った成果や取り組み、エルダー出向先の現状や問題、課題克服のために実践してきたことなどの発言を受けました。交流を通じてエルダー組合員同士の絆をさらに深め、東日本ユニオン組織の強化・拡大と、労働環境の改善に向けて取り組みを創り出していきます。(エルダー協議会投稿)

黒字に転換しました。連結決算でも営業収益を創り出しましょう!

### 新幹線統括本部との 団体交渉日程決定!

幹申5号 幹申第4号の団体交渉を踏まえた 乗務員運用行路表における 「その他時間」に関する申し入れ

2023年5月24日(水) 10時00分より

団体交渉に向けて 職場からたたかいを作りだそう!

